

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 4 年 9 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 19 号 令和 4 年度介護保険特別会計補正予算(第 1 回)
議員名・会派名等	日本共産党
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>私たち日本共産党は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に活かすことこそが議員の責務と考えます。</p> <p>非公式の場に、議会で発言もしていない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるという考えから、以下、本会議や委員会などの公の場で討論した内容を掲載します。</p> <p>2022 年 9 月 28 日 本会議 議案討論 日本共産党の山口正子です。</p> <p>先ほどの健康福祉常任委員長報告に対して、議案第 19 号令和 4 年度介護保険特別会計補正予算(第 1 回)について、反対の立場から会派を代表して討論いたします。</p> <p>2021 年度決算確定を見越した今回の補正は、歳入として繰越金が 9 億 311 万 4 千円増額したことによって、介護給付費等準備基金繰入金は 1 億 2301 万 7 千円減額となり、今年度末残高が 24 億 7003 万 7 千円となります。2021 年度から 2023 年度の介護保険第 8 期は保険料を年間 1200 円引き上げて、今回 1 年目は財政的に基金積み立てが増えていますが、保険料引き下げには使わず、介護報酬改定時の保険料引き上げの抑制のために活用するとのことでした。</p> <p>また、2021 年 8 月からは、低所得者の介護保険施設入所時の食費が引き上げられ利用者の負担が増えました。所得金額だけでなく預貯金等の額によって負担限度額が引き上げられ、1 ヶ月 2 万円以上の負担増に利用者の家族から悲鳴が上がっています。介護サービスを利用したくても年金で入れる入所施設は狭き門となって利用困難な状況となっています。介護サービスは介護度と所得に見合ったサービスを契約しなければ利用できない制度であり、年金が引き下げられ物価高騰の中でお金がなければ必要な介護サービスが受けられないのが実態です。これでは保険料は払っても必要な介護サービスを受けられません。</p> <p>先の決算でも述べたところですが、保険料の軽減で滞納も減少するという効果もあるわけですから、基金をどんどん増やすのではなく保険料引き下げを考え、さらには必要な介護サービスが必要な人に利用できるよう、</p>

以前の老人保険制度のように措置として提供できる制度に切り替えることを求めます。

以上述べまして、この議案第 19 号の反対討論といたします。